「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2024年 9月 3日

| ①事業者名 | ブリティッシュ・カウンシル | | | | | |
|---------------------------------|--|----|----|-------|---|----------|
| ②測定ツール名 | Aptis for Teens (アプティス フォー ティーンズ/中高生向けAptis) | | | | | |
| ③主な対象者 | 10代英語学習者(中等教育課程)で、CEFRでA1からB2のレベルの生徒を対象とします。 | | | | | |
| ④対象教科 | 国語 | 数学 | 英語 | ⑤測定内容 | 基本タイプ | 標準タイプ |
| | | | 0 | の区分 | | 0 |
| ⑥申請する測定ツ― ルの目的・概要 | AptisはSocio-cognitive(社会認知)モデルの言語テストとしてデザインされました。 英語を一般的に使用する様々な場面を想定し、英語4技能での、コミュニケーション力を測定する事を目的と しています。また10代向けのAptisでは中高生が学校生活で使用する単語を出題に入れています。Aptisは 団体向けに設計された評価ツールで、個人向けの資格試験ではありません。教育機関等で、生徒の英語力 を技能別に評価し、授業計画の立案、指導、クラス分け、または授業の質評価の際に利用されています。 | | | | | |
| ⑦申請する測定ツー ルの特長・活用例等 | 実施日時を自由に選べる融通の高さと、CEFRによる成績提供で世界的な基準で英語のコミュニケーションカを評価する点が特徴といえます。技能ごとにCEFRで評価がでますので、強化が必要な技能を認識してPDC Aサイクルを計画することが可能となります。4技能型のテストですが、採点結果も5日以内で提供できますので、授業計画の見直しの際にスケジュールが立てやすいという利点もあります。 実際のコミュニケーションを想定した設問となっているので、Aptisを受けることによる良いウオッシュバックも期待されます。マレーシア教育省の教員の英語カ測定や、日本・京都大学での新規導入プログラムの効果測定に利用されました。2020年度の台湾教育省の英語カ調査でAptisは測定ツールとして利用され、450の学校で、6,600人の生徒を対象に4技能テストを実施しました。 | | | | | |
| ⑧実施期間、年間実施回数 | 試験日時は学校側で設定することが可能。 実施回数にも制限はありません。 | | | | | |
| ⑨実施方式 (CBT/PBT) | СВТ | | | | | |
| ⑩試験時間(分) | 国 | 語 | 数 | .学 | 英 | 語 |
| | | | | | 文法と語彙(コアパ- リーディング:30分 リスニング:55分 ライティング:50分 スピーキング:15分 | ート): 25分 |
| ⑪受検料 | 1)8,800円 (2024年度現在10%の消費税込み価格)/回:年間延べ受験者数が100名以上の場合、またこの受験料を適用します。 2)12,100円 (2024年度現在10%の消費税込み価格)/回:年間延べ受験者数が100名未満の場合、この受験料を適用します。 | | | | | |
| ②標準返却期間 | 試験終了から5日 (最短で3日ですが、受験者数によって5営業日必要な場合がございます) | | | | | |
| ③URL(事業者のH Pにおける測定ツー ル紹介) | https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/implement/mext | | | | | |